

専門学校 健祥会学園だより 2020.SPRING

Tomorrow



専門学校 健祥会学園

明るい未来を信じて



専門学校 健祥会学園
校長 武田 英二

専門性をアドバンテージに 社会の期待を担いゆけ



健祥会グループ
理事長 中村 太一

日本のこれからの問題として人口減少と少子高齢化のために社会と国の経済活動が低下することが危惧されています。この問題を解決し克服していくためには、若者の活躍がどうしても必要です。本学園は人財の育成を通して、社会の活性化と若者の明るい未来を応援したいと考えています。

専門職人財の育成

本学園では、少子高齢化社会の中で最も必要とされる介護福祉士、保育士・幼稚園教諭、理学療法士、作業療法士を養成しています。介護福祉士は、高齢者や障がい者の生活を支援します。保育士・幼稚園教諭は乳児や幼児の発育発達を保護者とともに支援します。理学療法士は、主に身体障がい者に対してリハビリにより機能を回復させます。作業療法士は、精神障がい者や身体障がい者の生活活動がスムーズに行えるよう日常生活を支援します。このように専門職人財は高齢者、障がい者、子ども等の社会で弱い人を支援できます。学生は国家資格であるそれぞれの専門職をめざして、知識や技術を修得するために教室での勉強や実習に励んでいます。

知識や技術の習得

学生は、人間の身体の構造や生理的機能、疾患や障がいに対するリハビリテーションや精神的支援の専門知識・技術を修得していきます。カリキュラムも改訂され、高度な技術を2年および3年の期間内に効率よく理解できるように工夫しており、さらに iPad やポートフォリオも活用します。教員は思いやりがあり豊かな知識と優しさを有し、学生の適性、能力等にあった個別指導ができる教育体制です。とくに困難な課題の解決のためには、学生が十分に理解できるように、説明を工夫して繰り返します。

豊かな人間として

自分の誇りや他人を尊敬する心を持ち、努力を重ねていけば、素晴らしい人生を送ることができます。若者はもちろん高齢者になっても夢を語り、明るい未来の姿を描ける人間でありたいものです。夢を描き、創意工夫を重ね、ひたむきに努力を重ねていくことを通じて、人格は磨かれていきます。また、一つのことに打ち込み、一生懸命コツコツ努力して生きていくことが、心を高め、人格を磨いていくこととなります。健祥会学園で専門職をめざすことで、明るい未来をキャッチしましょう。

超高齢・人口減少時代に持続可能な新しい社会の姿を描くために、社会の様々な分野で改革がすすみ、IoTやAI、ビッグデータなどを活用した第4次産業革命の波も拡大しています。労働人口の減少を受けて、様々な価値観を持つ人にとって動きやすい職場であるための「働き方改革」が進展。外国人労働者の受け入れもすすんでおり、まさに多様な人財が能力を発揮しながら競い合う「共創」と「競争」の時代です。

本学も文部科学省の「職業実践専門課程」の認可を得て、それにふさわしいダイナミックな改革に取り組んでいます。そのひとつがICTの活用による効率的なカリキュラムの展開です。タブレット端末の利用により、授業においても、共同学習、自主学習、臨床実習においても、あらゆる場面で効果が上がっています。さらに継続的・持続的に教育内容の進展と教員のレベルアップを図るとともに、企業・行政・学術団体との連携も積極的に推進し、実践を見据えた高度専門職を育てる態勢づくりをすすめているところです。

技術革新をもたらす変化と、グローバルが故の不確実性の時代をたくましく生き抜くためには、専門性こそが武器です。そして、高齢社会の安心のためには介護福祉士へ、リハビリへの期待を担って理学療法士・作業療法士へ、さらに幼児教育を担う保育士へ、本学の養成するすべての専門職に社会の熱い視線が注がれています。

将来的にAIにより多くの職種において仕事が奪われるといわれていますが、人に向き合う介護・医療・保育の仕事は、AIがいくら進化してもとってかわることのできない仕事です。本学では、豊かな教育環境と最新の設備の下、熱心な教員たちが専門性・科学性に立脚した先進の知見と技術を提供し、いのちを預かる「職」としての「優しさ力」「こころ」を豊かに育みます。母体である健祥会グループには介護から医療、保育、障がいまで、様々な種別の施設が多数あり、その協力により、皆さんは現場で最先端を学ぶことができます。皆さんの選んだ仕事は人にしかできない素晴らしい仕事です。誇りをもって、本学で専門職としての揺るぎない自分をつくりあげていってください。時代は皆さん方を待っています。

文部科学大臣から全学科『職業実践専門課程』に認められました！

『職業実践専門課程』とは、平成26年度より文部科学省によって制度化されました。職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するために、企業等と連携した実習や実技の授業を重視した専門課程です。現場で行われている最新の技術や知識を修得することができます。

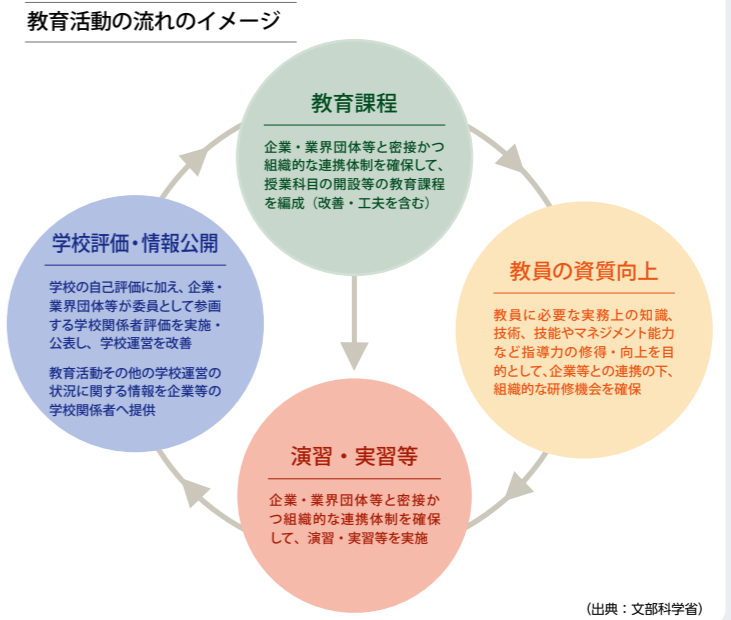
平成30年2月27日に、介護福祉学科・理学療法学科・作業療法学科の3学科が、平成31年3月5日に、保育学科が『職業実践専門課程』として文部科学大臣より認定されました。これにより本学園が教育の質の保証・向上に取り組んでいることや信頼ある教育機関であることが証明されました。



全国専門学校の認定率 35.4% (文部科学省 H31.3 発表)

職業実践専門課程への取り組み

- 1. 企業と密接に連携した授業**
実践的な知識を習得するため福祉施設・医療機関と連携した授業を展開しています。
- 2. カリキュラム編成に企業等の意見を反映**
福祉施設・医療機関と連携してカリキュラムを改善・工夫しています。
- 3. 教員研修の充実**
教員に必要な知識や指導力の修得・向上を目的として教員研修を多く取り入れています。
- 4. 学校関係者評価や自己点検の実施**
外部からの評価・意見を学校運営の改善に取り組み公表しています。
- 5. 学校情報の公開**
教育活動や学校運営に関する情報をホームページ等で公開しています。



リハビリテーション教育評価機構から高評価で認定されました！

平成29年度から本学園の教育について一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による第三者評価を受け、多くの項目で高い評価をいただきました。

※第三者評価とは、学校の運営がどのようになされているのかなどを調査し評価することで、学校の透明性を示す基準となっています。



本学園は教育の質の保証・向上に絶えず取り組んでいます！

キャリアアップ支援

介護支援専門員・介護福祉士・社会福祉士
国家試験対策講座

専門職としてキャリアアップをめざす卒業生や社会人を対象に、夜間や休日に対策講座や模擬試験を開催しています。



介護福祉士実務者研修・介護技術講習会

介護福祉士国家試験の受験資格として、実務者・福祉系高校・EPAルートの実務者研修や介護技術講習会を行っています。



同窓会勉強会

本学園を卒業後も専門職として進化し続けてもらうために、各学科で同窓生対象の勉強会を開催しています。同窓生の学びの場として、また意見交換の場として多くの卒業生が参加しています。



作業療法の実践と作業科学について



研修報告・意見交換会



美容師から学ぶ洗髪技術



糖尿病に対する理学療法



作業療法学会にむけての予演会

学生に寄り添った教育

ICT教育の実践

平成30年度に導入した個人用タブレットでの教育が定着してきました。授業での活用だけでなく、成果発表として学生自身がまとめた資料を全体に配信して知識の共有にも役立っています。



ポートフォリオの活用

学生一人ひとりの目標や授業での学び、専門職を目指す成長記録としてポートフォリオを活用しています。自らの自己評価を踏まえ、担任との面談や、目標達成までの支援に活かしています。



ポートフォリオとは

学生が自己の目標や学習でのレポート課題等をファイリングし、自らを振り返り、成長過程が見えるように保存する評価方法



教員の質の向上へ

本学園の教員は、学生の教育に日々携わりながら学外でも様々な活動を行っています。外部との連携の中でより現場で必要とされる技術を身につけ、専門分野での活動や研究にも取り組み、教員の質の向上に繋がっています。普段なかなか知ることのできないこれらの活動の一部をご紹介します。



一例：日本介護福祉学会評議員 / 公益社団法人日本介護福祉士会代議員・徳島市介護認定審査会委員 / 介護支援専門員更新研修ファシリテーター / 介護福祉士実習指導者講習会講師 / 徳島県介護福祉士会国家試験対策講座講師 / 在宅育児家庭相談室「子育て支援講座」講師 / 高校・大学非常勤講師 / 保育人材確保検討会委員 / 徳島県社会福祉士会基礎研修講師 / 徳島県理学療法士協会理事 / 高校女子バレー部・高校野球メディカルサポート / スポーツチーム・障がい者スポーツなどの帯同トレーナー / 認知症サポーターキャラバンメイト / サルコペニアについて徳島大学との共同研究 / クリニックでの療育研修 / 四国作業療法学会にて発表 / 各大学・大学院博士課程在籍 など

教員の活動報告



環境美化活動

放課後、周辺道路の清掃を行っています。すれ違う人と挨拶を交わしたり、近隣の方から話しかけていただいたりと学生の地域交流にもなっています。



認知症サポーター養成

認知症への正しい知識と理解を持ち、手助けや支援ができるよう全学科の学生が認知症サポーター養成講座を受講しています。



健祥会学園から
発信する地域貢献
～ひろがる輪～



地域交流GB

ゲートボールの一戦が地域の方との交流にもなっています。



レクリエーションにご招待

近隣施設の入居者をご招待して学生と一緒に「うどん作り」を体験しました。



介護・健康相談

ショッピングセンターに出張しての健康相談や介護相談。身体バランスを測ったり、とろみ剤の試飲や脳トレなどのレクリエーションを行っています。



人形劇の上演

学生が保育園を訪問し、人形劇の上演を行っています。



Tomorrow Land

地域の子供達を招いて、人形劇やオペレッタ、ダンスやゲームと一緒に楽しみます。

Free space

いこいの場所 卒業生からの贈り物

学園内には自習やグループ学習、コミュニケーションができるフリースペースがあり、学生生活を豊かにしています。それぞれの場所にはいつも学生達の姿があり、いこいの場にもなっています。



1号館2・3階

「Iko-i」いこい
「Iyasuragi」やすらぎ

休み時間に気分転換をしたり、放課後に友達と集まっている姿がよく見られます。



1号館1階

「elever」エルヴェ

「elever」とはフランス語の「育む」という意味で、人として専門職として成長して欲しい、将来子ども達を育むプロになって欲しい、という願いが込められています。レポート課題をしたり、お弁当を食べたりと落ち着く環境です。



本館2階

「Avenir」アベニール



本館3階

「Espoir」エスポワール

「Avenir」は「未来」、 「Espoir」は「希望」というフランス語で、学生の未来や希望を思っで名付けられています。自習スペースとして常に学生が利用していて、家よりも勉強に集中できるとか。友達との学びで交流も深まっています。

IT'S NEW
bonheur フランス語で「幸せ」という意味の新しいフリースペースが仲間入り!
本館1階
「bonheur」ボヌール

介護福祉学科

将来、介護現場で必要とされる確かな知識と技術を持った介護福祉士を養成しています。健康会グループに多くの介護施設を持つ強みを活かして、より実践的な実技演習も行っています。

新入生オリエンテーション

1年生と2年生で交流を深める機会としてオリエンテーションを行っています。授業や試験、その他学園生活についていろいろな話で盛り上がります。



生活支援技術

ベッドから車いすへの移乗をアシストする介護ロボットを実際に体験。最先端の福祉機器に触れて、現場で活かせる介護技術を身につけていきます。



調理実習

調理実習を通じて食材を小さく切ったり、とろみをつけたりして食べやすい調理方法などを学んでいます。本日のメインは、あんかけ豆腐！



介護の基本

高齢者や障がい者が、地域で暮らす中での問題点を探るために必要な視点を学びます。地図を作り、プレゼンテーションをします。



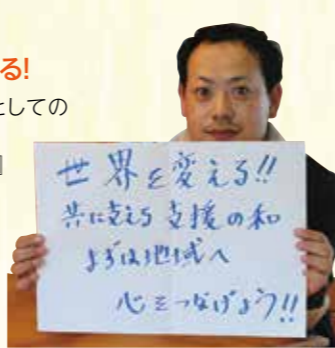
防災

災害時に求められる介護福祉士としての役割。車いすを4人で持ち上げながら階段を上り、避難誘導方法についても学びます。



介護の未来を変える!

2年間で学ぶ専門職としての知識や技術。「未来の介護を変える!」「新しい介護を創る!」熱い気持ちで勉強します。



保育福祉・保育学科

保育士・幼稚園教諭・社会福祉士になるための「専門力」を有するために必要な理論や技術の習得を目指しています。「人間力」「実践力」を培うために学生主体での授業を展開し、現場との連携の中で学びを深めています。

新入生と在校生の交流会

新入生が先輩たちとゲーム等を楽しみながら、親睦を深める会を行っています。これをきっかけに学年を越えた交流が深まります。



幼児の観察と理解

授業の一環としてグループの保育園・認定こども園の施設見学をします。現場で直に仕事の素晴らしさや大変さを感じ、保育の楽しさを実感することができます。



スクーリング「幼児体育」

近畿大学九州短期大学で集中講義を受講しています。幼児の発達を理解し、伝え方や表現の仕方などを講義や実技を通して学びます。



卒業生と在校生が繋がる会

各施設、様々な職種で活躍している卒業生に、仕事について体験談などを語ってもらいます。学生にとって、自分の進みたい分野や将来を考える良い機会になっています。



食育

「食育」の授業をグループの認定こども園で行っています。園の管理栄養士から指導を受けながら「栽培→収穫→調理→食」を体験しています。子ども達と一緒に活動することで生きた学びにつながっています。



おぎやと21

次世代育成イベント「おぎやと21」に参加。幼児期の子ども達にとって生活そのものが遊びです。子ども達に楽しんでもらえる遊びを考えて提供することで学びが深まります。



理学療法学科

社会に貢献できる理学療法士になれるように、さまざまな工夫やアイデアを取り入れた授業や実習を実施しています。また主体的に学び、充実した学生生活が送れるように学生と教員が一体となりクラス運営に取り組んでいます。

日常生活活動学総論

車いすに乗って学園内を移動。行きたいところが通れなかったり、普段は気にならない日常生活の中の障害物（バリア）に気づくことができます。



保健体育学

地域の方と一緒にチームを組み、ゲートボール交流大会を実施しています。ルールや技術など、教わるのがいっぱいです。



国際医療福祉学

世界の理学療法を学ぶ授業で青年海外協力隊としての体験談を聞きました。民族衣装を着たり、「カバ」という飲み物を飲んだりとフィジーの文化にも触れることができました。



卒業論文発表会

臨床実習を終えて、卒業論文を作成し、代表者が発表をします。それぞれの内容が充実しており、発表資料も工夫されています。質疑も活発で、質の高い卒業論文発表会になっています。



立意式

初実習の前に立意式をします。実習に向けての心構えやどのように学習を進めていくのか、実習中の学生としての姿勢などについて話を聞き、初実習に臨みます。



見学実習の発表会

1年生が初めての実習に行き、実習先で学んだことやこれから理学療法士になるための課題などを発表しています。

作業療法学科

「こころ」と「からだ」の回復に向け、その人らしい生活を支える存在となれるよう知識・技術・人間力を磨きます。地域での生活にも目を向け活動や参加が促進できるような作業療法士の育成を行っています。

解剖学Ⅱ

身体のことを一から勉強します。教科書では平面ですが、タブレットを使って立体的に骨や筋肉を観察することで、よりいっそう理解が深まります。



基礎作業学

作業活動の要素を理解し、治療に活かすことができるように陶芸やタイルモザイク等を行います。革細工では、革に刻印をしてキーホルダーやコースターを作ります。



作業療法評価学

患者さんのリスク管理が行えるように、まず血圧や脈拍、呼吸数といったバイタル測定について学びます。先生に教わりながら、練習を重ねます。



生理学Ⅱ

作業療法士を目指す上で基礎となる科目です。覚えることが多いのでポスターを作り、教え合いをすることで着実にしっかりと覚えていくことができます。



生活行為治療学

作業療法士は、生活の中で困っていることや、うまくできないようになりたいことを支援するのが仕事です。そのためにも調理動作や掃除などの生活行為を体験し、どのように指導すればよいかを分析します。

確認テスト

1年生から国家試験に向けた勉強を行っています。覚えることはたくさんあるので、その都度こまめに確認することが大切です。



健祥会学園 365DAYS

学生生活は授業だけではなく、同じ目標を持った仲間と過ごす毎日。
笑ったり、泣いたり、協力し合ったりの積み重ねで人として大切なことを学びます。

- 春季休業
- 入学式
- オリエンテーション
- バリアフリー展見学研修
- 新入生歓迎会



- 学園祭
- 学生協 球技大会
- 学生協 体験発表会



バリアフリー展見学研修



入学式



新入生歓迎会



学園祭
スーパーライブ「モン吉」



学生協
球技大会



Tomorrow Land

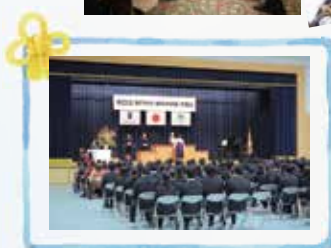


国家試験壮行会

- 前期試験
- 夏季休業
- 立意式



立意式



卒業式・謝恩会

- 冬季休業
- Tomorrow Land
- 国家試験壮行会
- 後期試験
- 卒業式・謝恩会

随時開催

◆オープンキャンパス

授業体験や学科ごとに色々なプログラムで開催しています。学校の雰囲気を見たり、聞いたり、先輩との交流もでき、何でも気軽に質問できます。

◆シゴト体験会

健祥会グループならではの現場直結イベント。福祉・保育・医療の現場で仕事に触れるチャンスです。

◆1日キャンパス・シゴト体験会

午前中に学校で学び、午後から現場での実践。学んだことが実際に現場でどのように活かされているかを体感できます。

